

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 A-4-1	
事業名 埋蔵文化財発掘調査事業	
事業費 総額 1,591 千円 (内訳: 発掘調査費 1,106 千円、整理作業費 486 千円)	
事業期間 平成 24 年度～令和元年度	
事業目的・事業地区 東日本大震災において住居に被害を受けた被災者が、町内で生活再建を行うにあたり、止むを得ず埋蔵文化財包蔵地において個人住宅や中小零細企業店舗等を建設せざるを得なかった世帯に対して、被災者の早期生活再建と財政負担の軽減のために、6 か所の埋蔵文化財発掘調査を行ったもの。(位置図は別紙のとおり)	
事業結果 ＜発掘調査＞ 西館跡 (平成 24 年度、発掘面積 5 m ² 、調査費用 191 千円) 中組遺跡 (平成 24 年度、発掘面積 10 m ² 、調査費用 189 千円) 谷陽院遺跡 (平成 24 年度、発掘面積 14 m ² 、調査費用 166 千円) 小沼遺跡・狐山遺跡 (平成 24 年度、発掘面積 19 m ² 、調査費用 164 千円) 皎善寺館跡 (平成 24 年度、発掘面積 16 m ² 、調査費用 235 千円) 化粧坂遺跡 (平成 25 年度、発掘面積 107 m ² 、調査費用 161 千円) ＜整理作業＞ 美里町文化財調査報告書第 7 集 (令和元年度、300 部、印刷製本費 486 千円)	
調査状況 (化粧坂遺跡)	(谷陽院遺跡)
	
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 町内 6 か所の埋蔵文化財包蔵地内に新築予定だった個人住宅については、令和 3 年	

3月現在、調査後に住宅が新築され、住人が居住している。

住宅建築において、失われる可能性のあった埋蔵文化財を迅速に調査することで、住民の円滑な生活再建に資するとともに、埋蔵文化財の所在の有無等を明らかにし、記録として調査報告書を作成することができたことから事業が適正に執行されていると判断される。

② コストに関する調査・分析・評価

事業費の設計・積算は一般財団法人建設物価調査会刊行の土木コスト情報等を基準に実施し、美里町財務規則等に基づき見積を徴収し、業者を選定している。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

個人住宅建築に伴う埋蔵文化財の調査は、事業者からの申請により実施の有無が判断される。当初の見込みより、調査まで要する案件が少なかったものの、調査が必要となった町内6か所における埋蔵文化財発掘調査は、申請を受けて迅速に実施することができ、概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

事業実施年度	平成23年度	～	令和2年度
埋蔵文化財発掘調査	平成24年2月	～	令和元年12月
発掘調査整理作業	平成25年4月	～	令和2年3月
報告書刊行	令和2年3月		

<実際に事業に有した事業期間>

事業実施年度	平成23年度	～	平成30年度
埋蔵文化財発掘調査	平成24年2月	～	平成25年3月
発掘調査整理作業	平成30年4月	～	平成31年3月
報告書刊行	平成31年3月		

事業担当部局

教育委員会教育総務課文化財係 電話番号：0229-58-0500

別紙位置図② 小牛田地域北西部

